

2026年もよろしくお願いします。

2026年(令和8年)になりました。3学期が始まります。

2学期に比べて、3学期はあっという間に終わってしまいます(給食日数も2学期76回に対して、3学期46回と30回も少ないです)。

底冷えする毎日が続きます。食べることで体温維持をしております。毎日元気に過ごせるように、朝ごはんをきちんと食べて登校し、昼食もしっかり食べてくださいね。



おむすびの日



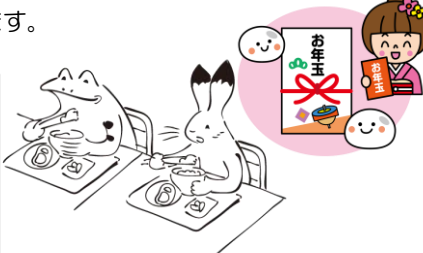
食べ物の大切さと、みんなで
支え合う心を学ぶ日にしましょう。

お年玉はもちだった!?

お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではないのでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえはお年玉。新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月の「歳神様(年神様)」にお供えた「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の「魂」」を意味します。



うまのように野菜を
たっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう!



よく味わってうま味
を感じよう!

今年はうま年!

大山崎小学校の給食週間は1/26~30です。

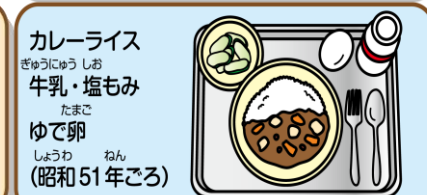
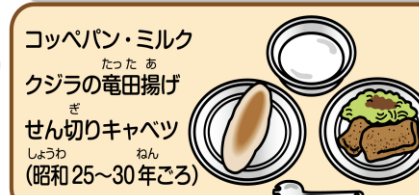
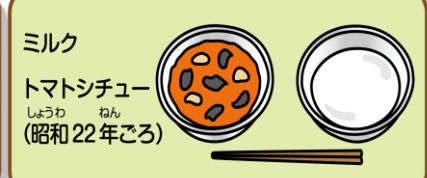
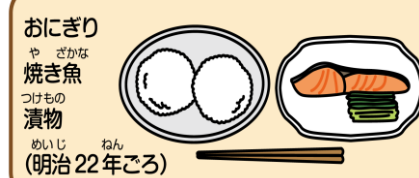
日本の学校給食は、明治22年(1889年)、山形県鶴岡市(現:鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されていました。戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。

昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日~30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

日本の学校給食のあゆみ



現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を送ることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

「毎日給食を作ってくれる調理員さんに感謝を伝えよう!!」

今年は給食委員さんが各学級へのお手紙をお願いに行きます。回収も給食委員の担当者が行きますので、担任の先生は、対応をお願いします。



「栄養士のひとりごと」

令和8年もよろしくお祈いします。3学期の給食は始業式の翌日1月9日(金)から始まります。1月はお正月献立と給食週間、2月・3月は6年生の作成献立給食と6年生卒業祝い弁当(6年生のみ)を実施する予定です。

昨年の大晦日に嵐山温泉「風風の湯」に行きました。どこか遠い国にでもきているかのように錯覚するほど外国人観光客ばかりでした。ある意味非日常を感じることで、リフレッシュポイントかもしれません(▽)。(栄養士 田中)



今年の給食週間は、
「図書コラボ給食~
物語に出てくる料理
を楽しもう~」だよ。
どんな料理がでてく
るかな♪

